

第 11 回小鴨小学校・上小鴨小学校統合準備委員会 会議録

1 日 時 令和 6 年 2 月 9 日 (金) 午後 7 時 00 分～午後 8 時 40 分

2 場 所 上小鴨コミュニティセンター 大会議室、視聴覚室

3 参加者 統合準備委員会委員 19 人 (小鴨 9 人・上小鴨 10 人)

市教委 教育長ほか 7 人

4 概 要

総務部会： 会議室 19:00～19:40	
部会長	<p>それでは 19 時になりましたので、第 11 回統合準備委員会の総務部会を開催をさせていただきます。前回 10 回目が 11 月 27 日ということで 2 か月経っております、年も明けるところですが、今年もよろしくお願いいたします。</p> <p>では議事に入りたいと思いますが、本日は小鴨委員は青少協との関連で PTA 部会に入っております。また、上小鴨の青少協役員も PTA 部会に入っております。</p> <p>今日の議題ですが、総務部会の方は時間が余ると思われまので、意見交換が出来ればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。そうしますと、まず最初に報告、閉校式・開校式の出席者について、欠席連絡の方法について、スクールバスについてということで事務局の方から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>はい、失礼します。それではまず、閉校式・開校式の出席者について報告します。</p> <p>資料 2 ページをご覧ください。資料 2 ページには小鴨小学校閉校式出席者名簿を付けております。一覧で 48 名おられますが、こちらの方々に来賓として出席していただくと考えております。修正等あれば教えていただければと思います。</p> <p>なお 17 番から 24 番は小鴨小学校歴代校長先生ということで 90 代前半までの方、ご存命の方に連絡をさせていただいております。今後案内を出しますので、今後ご回答いただけると考えています。</p> <p>次に 3 ページは上小鴨小学校の閉校式の出席者名簿を付けております。こちらも同様に、記載の皆様に来賓としておいでいただきたいと考えております。</p> <p>最後に 4 ページになります。こちらは 4 月 10 日の小鴨小学校開校式になります。沢山の名前がございまして、この後しっかり見ていただき、漏れがないか、あるいはこのような方をお呼びしてはどうかというようなご意見等がございましたらお伺いできたらと思います。それではまず、閉校式・開校式の出席者についてご意見等ございましたらよろしくお願いいたします。</p>
部会長	何かお気づきの点があればご発言をお願いします。
事務局	すみません、補足をさせていただきます。4 ページの開校式についてですが、37 番から 48 番まで地域学校委員さんに入っておりますが、現在委員の方を便宜上記載しております。今後変更等がありましたら、こちらに変更させていただきたいと思っておりますのでご承知ください。
部会長	地域学校委員さんは再度チェックをお願いいたします。その他お気づきの点があれば

	<p>ご発言をお願いします。閉校式についてはそれぞれの地域での出席で行うということで相互の参加は無しということでよろしくをお願いします。</p> <p>では無いようですので、次の欠席連絡の方法についてお願いします。</p>
事務局	<p>欠席連絡の方法について報告させていただきます。前回の統合準備委員会の意見で、欠席する場合にバス会社・学校・学童に同時に連絡が出来るようにならないかというご意見があったと思います。</p> <p>前回も少しご説明しましたが、現在関金小・成徳小がスクールバスを活用していますが、両校は 6 ページに資料を付けておりますが、「今朝はスクールバスに乗らない連絡システム」を使い、スクールバスに乗らないという連絡だけをしていただいております。学校や学童へは別途連絡をしていただくというシステムをとっております。</p> <p>前回のご意見を受けまして、例えばで Form で連絡が出来る体制が出来ないか等検討しましたが、一度に連絡がいくシステムを作った場合、他校とも合わせて実施する必要があります。学校によってシステムが違いますと、スクールバスの運行会社の方が混乱されます。なお、運行委託の会社は流通株式会社さんに決定しておりますが、成徳・関金、こちらのスクールバスも運行委託しており、市内で統一したシステムにする必要がございます。</p> <p>また、バス会社・学校・学童の全部に同じ連絡がいくという場合にですね、例えば欠席理由も一緒に届いてしまいます。仮に新型コロナウイルス感染症に罹った場合、その個人情報も流れてしまうということになります。そのような懸念もあり、どのような方法が市内一斉にとれるか、協議をしているところです。ということで、今日の段階ではよい方法が無い状態です。ひとまず成徳・関金と同じ方法でさせていただきたいと思っております。</p> <p>新しい小鴨小学校については、児童数も多く、先生方の手間ということもあります。良い方法が無いか検討している段階でございます。決定しましたら、学校やバスを利用される上小鴨地区の方々に連絡をさせていただきたいと考えております。</p> <p>なお、6 ページの、「今朝はスクールバスに乗らない連絡システム」について説明させていただきます。これは、スクールバスに乗らない場合、QR コードをスマートフォン等で読み取って連絡をしていただくものになります。</p> <p>4月になりましたら、スクールバスを利用されるご家庭へ、個人のカードを配ります。個人カードのイメージがありますが、このような QR コード・児童の名前・乗車するバス停を入れたカードを配布します。バスに乗らない日は保護者の方がお持ちのスマホ、タブレット等でこの QR コードを読んでいただきます。QR コードを読んでもいただきますと④の図のような画面が表示されます。受付日時、学年、名前、利用バス停、今朝のスクールバス利用のキャンセルを受付しました、ご連絡ありがとうございましたということで、この画面が表示されると同時にバス運転手への連絡が完了するというものです。この個人カードですが一人一人個別の QR コードが印刷されております。こちらのシステムは、教育委員会学校教育課が作ったシステムです。必ずこの</p>

	<p>システムを利用しなければならないというものではありません。直接バス停に行って運転手に伝えるとか、同じバス停から乗る児童に伝言を頼むという方法でも構いませんが、便利かと思しますのでぜひお使いいただければと思います。</p> <p>それから 7 ページもご覧ください。「doco です car for BUS」というものになります。こちらはパソコンや携帯電話を使って、今スクールバスがどこを走っているかを見ていただけるものです。こちらは流通株式会社が提供してござっておりますけれどもパソコンや携帯です、URL を入力していただいて、バスナビゲーションシステムトップ画面にアクセスしていただきます。こちらの ID、パスワードはバスを利用される方に配布させていただきますが、その ID とパスワードを入れていただきますと、運行状況を確認できるようになっています。現在、バスがどこのバス停にいるのか分かるようになっておりますので、こちらも導入したいと考えております。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。欠席連絡の方法についてご説明いただきました。まだ検討中ということで、保護者説明会でお伝えになるということです。何かご質問等ございますでしょうか。無いようですので、スクールバスについてお願いします。</p>
事務局	<p>では、スクールバスについてご報告します。運行委託は流通株式会社ということで決定しております。現在、広瀬スタートということでバス路線の契約をしておりますが、この契約後に 3 名乗車する児童が増えるという連絡がありました。今までは、43 名の児童がバスに乗るということでした。バスの定員は児童が 44 名となっておりますので、定員オーバーという形となってしまいました。児童の皆さんがシートベルトを使うためにはですね、何かしらの対策が必要ということで、現在色々な方法を検討しているところです。</p> <p>このことについては、上小鴨の保護者代表の方には事前に話をさせていただいているのですが、その中でもですね、なんとか別便を出して貰えないのかというご意見もございました。ちょっとその辺りは予算との関係もございまして。予算の方がもう来年度予算については締め切られておりますので、なんとかクリアできる方法はないかということで検討しているところです。</p> <p>保護者の皆様には出来るだけ早く文書等を通じてお伝えさせていただきたいと考えております。また、地域の方もですね、安全対策でバス停まで見ていただけるという話も聞いておりますので、出来るだけ早く運行経路につきまして回答をお返ししたいと思います。現在の所は検討中ということでご了承願えたらと思います。色々検討中で申し訳ございませんが、今のところはそのような形で進んでおります。</p> <p>当初の予定ですと、2 月初めにスクールバスに係る説明会を実施し、3 月に始めには親子安全教室を開催する予定でしたが、このような状況ですので、経路が決定次第保護者の皆様には文書でご連絡し、3 月初めに保護者説明会と安全教室を実施、4 月は実際のスクールバスで登校練習をするというふうに変更しております。スクールバスを利用される上小鴨地区児童保護者の皆様には、本日文書配布をしております。</p> <p>安全教室は 3 月 3 日日曜日午前 9 時から 1 1 時 3 0 分、倉吉市の市バスを利用しまし</p>

	<p>て各バス停を回って小鴨小学校まで行き、一旦小鴨小学校で降りまして説明会と親子安全教室を行います。運行経路、時刻、スクールバスの安全な乗り方を説明させていただき予定です。</p>
	<p>それから新年度4月6日土曜日の試乗練習では、実際の通学を想定して行います。実際の時刻、ランドセルも背負いながらバス停に来ていただきましてバスに乗っていただく、実際に想定した乗り方でやってみたいと思います。小鴨小学校ではですね下足場を確認して、またバスで帰っていただくという具合です。</p> <p>なお、子ども達のバスの座席は指定席です。子ども達が迷わないように、それから人数の把握もしやすいということで指定席と考えております。保護者の方にはですね当日も一緒に乗りたいという方も、一緒に参加したいという方もおられると思いますので、別に市バスを用意させていただきまして保護者の方は市バスに乗っていただくよう準備もいたします。来年度入学される新1年生にも参加していただくということで声を掛けたいと思っております。このような形を想定しております。以上が報告となります。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。何か質問等はございますか。</p>
小鴨委員	<p>ランドセルを背負ってどのようにシートベルトをするのですか。</p>
事務局	<p>児童は乗車しましたらランドセルを膝の上か足下においてシートベルトをします。このことについても安全教室で説明します。</p>
小鴨委員	<p>バスは発車時刻になっても児童が来ないときにはどうするのですか。</p>
事務局	<p>次のバス停で待っているお子さんがおられますので、発車します。</p>
小鴨委員	<p>よろしいですか。ルートを検討中ということですが、お話しできる範囲でどのようなルートを検討しておられるのか教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>今考えていることとしましては、少し広瀬のスタートを早くしていただいて広瀬、耳と児童を拾って行って、最後の土地改良区で乗られる児童さんにつきましては時刻を少し遅くして、先にそこまでの児童を学校に行って学校に降ろす。そしてそのバスをUターンして土地改良区の児童をピストンで迎えに行くという方法であったり、あるいはですねバスのスタートを例えば耳にするとか、その辺りピストンで行くという方法で色々なルートを検討しているところです。</p>
小鴨委員	<p>ぜひ2台で検討していただきたいです。ピストンでは早く到着した児童が待つこととなります。どこで待たせるのかとか先生方の働き方改革の問題もあります。</p>
事務局	<p>しっかりと検討して、なるべく早く保護者の皆様にはお伝えしたいと思います。</p>
部会長	<p>急遽、このような事態となり、事務局は大変かと思いますが、なんとかよろしく願いたいと思います。それではその他に何かございませんでしょうか。無いようですので、以上で総務部会を終了します。ありがとうございました。</p>

P T A 組織部会： 会議室 19:00～20:00	
部会長	<p>時間となりましたので、第 11 回 P T A 部会を始めます。今日はですね、素敵なゲストお 2 人に来ていただいています。青少年育成協議会の小鴨地区の会長と、そして上小鴨地区青少年育成部の部長さんです。ということでよろしくお願ひいたします。</p> <p>青少協と関わる P T A 事業のこともありまして、今日は実際どうやって関わっていくのかというところのチェックをしていきたいと思ひます。また、今後、青少協の活動を小鴨と上小鴨でどういう区分でいくのかというところも、話を聞かせていただけたらと思ひております。ということでそちらのホワイトボードをご覧ください。さっき会長に書いていただいたんですが説明の方をお願ひします。</p>
小鴨地区青少協会会長	<p>よろしくお願ひします。まず、青少協と呼ばれる団体が小学校区ごとにあるのですが、今まで活動を別々にして、今後統合で学校が一緒になるにあたって私達もどう関わっていけば良いのかという話し合いを 2 回しました。その中で同じようなものは一緒にやれたら良いよねとか、やっぱり独自の地域で残したい活動はしたいという声もあったので、その辺の所の説明もしながらと思ひていますが、基本的には新しい小鴨小学校の役員さん達がどう関わるかについては、こうじゃなきゃいけないというところまではもちろん決めていません。私達も、一緒にやっていく活動をこれからしていく中で、来年度はとりあえず様子を見ながら出来そうなことはやっていこうという話でやってみて、これはちょっと難しいなということになればやり方を変えてと考へているので、絶対にこのやり方という話をするつもりはありません。今までどう関わってきたかというところの説明をさせていただきたいと思ひます。よろしいでしょうか。まず小鴨の方からお話しさせていただきます。</p> <p>わかりにくい図かと思ひますが、こちら側が今現在小鴨地区で行われている青少年育成協議会、これを略して青少協と呼んでいます。真ん中は一応小学校の P T A、あちらは上小鴨地区の団体という感じで分けて書きました。小鴨地区の青少協は小鴨地区の色んな会の中でも 1 番人数の多い会になります。120 人～140 人ぐらいの大きな組織で活動していて、やっぱり子どもに関わることなので、小鴨の場合は小学校の P T A の役員さんには結構ごっそりあて職として関わっていただいていることが多いです。それ以外にも中学校の、西中に行っている中学校の役員さんにも関わっていただいておりますし、あとは地域の方々に年代も幅広く関わっていただいている協議会になっています。</p> <p>3 つの部に分けていて、主に挨拶運動とか広報をする総務環境部、育成部そして地域活動部という 3 つの軸で働いていただいております。主に小学校の P T A 役員さんが関わっていただくのが育成部と地域活動部という 2 つの部になります。小学校の P T A さんの中に P T A 育成部というのがあると思うんですけどもその P T A 育成部さんは 20 名ぐらいいるのかな。その 20 名が育成部、青少協の育成部にも関</p>

	<p>わっていただくという形で活動をしています。育成部以外に色んな各部の部長さん副部長さんそれからPTA会長さんとかPTA副会長さん3名4名いらっしゃるんですけど、この総じて役員会と呼ばれる人たちは、2つに大きく分けていただいて関わっていただいて、一部副会長さんに入ってもらったりという具合に、みなさんがごっそり地域の活動に関わっていただくという働き方をしています。この仕組みはかなり何年も前からあて職という形であって、実際小学校のPTAの役員さんも頭を捻るぐらい、わかりにくい組織図にはなっているんですけども、割と小鴨の青少協は若い人たちの意見が反映されやすいというような仕組み作りをしております。以上、このような形でやっています。一方上小鴨さんはどういう形で関わっていらしゃったかということなんです、お願いします。</p>
<p>上小鴨青少年育成部長</p>	<p>上小鴨地区はですね、今まで青少年育成協議会という名前でやっていたのですが、現在は地域づくり協議会となりまして、そちらの方で青少年育成部という形で3年目になりますけれども、ずっとやっております。小鴨さんのようにこういった組織分けはありませんので、育成部の中でカヌー教室とかスキー教室とかボルダリング、例えば中学生のサポート事業ということで運動会があったときに中学生のボランティアの子ども達が運動会の役員を大人と一緒にやってもらったり、あたご文化祭の時にストラックアウトとかモルックとか中学生が独自のボランティアで小学生とか地域の方を楽しませてあげているようなことでやっております。中学生の場合はボランティアですね。</p> <p>あと、4地区合同の今まで明倫、小鴨、社とやっていたけど、4地区合同でやっておりますイベントに中学生はサポート、ボランティアで入ってもらったりしております。そういった活動を小学生をメインにやりながら、中学生にはボランティアとして小学生と一緒に関わってもらうような形でやっています。</p> <p>メンバー構成に関しては、今まではPTAの副会長さんがあて職で副会長ということで青少年育成協議会の時は入ってもらっていましたが、育成部になってからは自治会の担当館長が副部長ということで入っておりますので、ずっと専属で副部長をやっていますけれども、その者とそれから担当館長が副部長ということで2人が入っております。ですので一応PTAという形では役では入っていないような形になっておりますので、今後統合になった場合は小鴨地区が役をされているということなので、出来れば小学生のイベントをこれから一緒にやっていく上で試行錯誤していかないといけないと思うのですが、案内は小学校で出すわけなんですけれども、要は上小鴨の子達もいて、小鴨の子達もいてという形になります、一緒にの学校になれば絶対みんな一緒に参加したりしたいと思うんですね。ですので初年度はお互い様子を見ながら予算組みはしておきますけど、子ども達が出たいといったら小鴨主催の今までやったイベントにも参加するようになると思いますので、上小鴨の私達も臨機応変にサポートに入らなきゃいけないなということがあります。また上小鴨は上小鴨で独自で魚のつかみ取りとかをしています。</p>

	<p>そういった独自の子ども会みたいな感じでやっていた地域ごとのイベントとかそういうものがあるんですけど、そういったことに関しては上小鴨の子は上小鴨の地区である程度色々な経験をさせてやりたいということもありまして、これは今のところは小鴨小学校で募集するのではなく、上小鴨地区のPTAの方に協力をいただいて参加の募集をしようかなと考えています。学校で募集を取るとどうしても小鴨地区の子も入ってきますので非常に微妙になってきますから、そういった形でやったらどうかということでも相談しています。一応こちらの副会長さんと育成部と総務部ということで今後上小鴨のPTAの方がやっていただけるということであれば、うちの方としては部員さんで入ってもらったりですね、イベントがあるときにはどちらにしても共通でやらないといけないということがありますので。独自にするものはそんなにないものですから、小鴨さんほどないので大体数えるほどしかありませんので。あとは日程を調整させていただくというような感じです。やってみないと子ども達がどういう参加になるとかというのは皆目見当が付きませんし、上小鴨独自でやっている今年のイベントに関しては、スポ少の試合などもあって若干参加人数が減っているなと思います。ただ新しい小鴨小学校になって友だちが増えたら、どういう参加になるのか分からないので、その辺は未知数ですから、協力しながら子ども達が出たいと言った場合は協力するような形を考えております。以上です。</p>
部会長	<p>はい、ありがとうございます。どうでしょう、質問等はありませんか。今会長さん方がおられますので。</p>
小鴨地区青少年協会会長	<p>先程の説明だけだとあまりよく分からないかと思いますが、2つの協議会で来年度以降子ども達がどういうイベントにどう関われるかというところの話を詰めておまして、お互いが別々の日程でやっていたカヌー、ボルダリングに関しては一緒にやるのであればチラシを小学校を通して配っても良いかなと思っています。</p> <p>上小鴨独自のイベントに関しては、子ども会を経由してチラシを配ることを考えてらっしゃるんですね。</p>
上小鴨青少年育成部長	<p>はい。</p>
小鴨地区青少年協会会長	<p>うちも小鴨独自のものは今まで通り学校を通してチラシは配っていこうと思っています。小鴨としては上小鴨のお子さんが入ってきても、急に人数が増えるわけではないので、問題なく出来るだろうと思っています。私達が心配していたのは、逆に上小鴨さんのイベントに小鴨が大人数で行ってしまうと大変になってしまうので、それを避けるために、同じ日にする教室と上小鴨さんが独自にするものと分けようという具合に考えています。</p> <p>新しい小鴨小学校の、上小鴨から入られる役員さんが来年は3名決まっていると聞いていますけれども、この方達が今後どのように関わっていくかということも1番</p>

	<p>心配されていると思いますが、今上小鴨青少年育成部長がおっしゃったように、上小鴨のイベントには PTA 役員さんに関わって欲しいなという思いがやはりあるようです。部員さんとしてですね。なのでそのような流れが合った方が良いかと思えます。それが地域からの思いということです。</p> <p>小鴨の青少協としては、3名の方が小鴨地区・上小鴨地区の両方は大変だということであれば上小鴨に専任していただいても、来年度はそういうお試しをしてみても良いと思えますし、あと小鴨地区の青少協はどういう活動をしているのか興味があるし知りたいということであれば関わっていただいて両方を兼任していただくというやり方でも良いのかなとも思います。今考えました。いかがでしょうか。</p>
上小鴨委員	<p>来年度の上小鴨の役員を決める会をもったときに、3名が上小鴨から出られますが、副会長さんと育成部の副部長さんと総務部の副部長さんになられた方の中で、あて職として今まで上小鴨の地域づくり協議会とか、青少年育成部入っておられた方がいらっしゃったので、同じように考えて今お話しされたように3名入るのではなく、あて職で1名そこに入られたら良いのではないかということで決めています。そういう決め方を今してしまっているのですが。</p>
上小鴨青少年育成部長	<p>現在あて職では入っていないです。地域によってどなたが入ってくるかです。福山は何名とか、地域から役員が出るんです。</p>
小鴨地区青少協会長	<p>小学校の PTA 役員さんがあて職という形をとっていらっしゃらないということですよ。</p>
上小鴨青少年育成部長	<p>今はとってないです。</p>
小鴨地区青少協会長	<p>上小鴨の各地域の中で関わるということをやっている、小学校の PTA さんとしてのあて職という形は取ってなかったということですね。来年からはそれをどうするかということですよ。</p>
上小鴨委員	<p>PTA 会長がそこに入ったりしていませんか、上小鴨地区青少年育成部長さん。</p>
小鴨地区青少協会長	<p>今年に入っていないということでしたよね。</p>
上小鴨委員	<p>あて職の中で PTA 会長さんが入っておられると私の方では。</p>
小鴨地区青少協会長	<p>部員さんとして入っているということですかね。</p>
上小鴨委員	<p>そうですかね。</p>
小鴨地区青少協会長	<p>令和3年度まではあて職という形でおられたけれども、令和4年度からはあて職としてはないということでお聞きしています。</p>
上小鴨青少年育成部長	<p>役としては無いと思います。要するに皆さん役員ということで、回す役員としては各地区からは入っていません。役員としては PTA の方も何名かいらっしゃいますので。</p>

小鴨地区青少協会長	部員さんとして、役として入っておられて、なんとか長として入っているわけではないということですね。
部会長	というところで、上小鴨委員が言われたのですが、携わり方ですよ。新しく統合したときにどのように、さっき小鴨地区青少協会長さんが言われたように、どちらも出るということであればそうだし、片方でもよいとなると、なんだか曖昧な感じになってしまいますね。でも両方は負担でしょうし、ある程度決めておかないと動きづらいと思いますが、いかがですか。
上小鴨青少年育成部長	上小鴨のイベントは多くありませんので、本来であれば PTA の方に入っていただくのが 1 番良いんですけど、小鴨小学校という形で向こうでまとまってやるので主力は向こうに置いてもらっても良いと思います。もしこちらで入るのが大変でしたら、上小鴨は各地区で保護者が何名かは出て来ますので、特別にこちらで役についてもらうことは無いと思いますから。小鴨さんの方で役をやってもらって、どっちにしる合同のカヌーとかボルダリングの時はいずれにしても共同になりますから、そういうときには関わっていただくというような形になると思いますので。
部会長	ということは小鴨地区の方の活動で上小鴨さんの新役員も一緒に活動するという格好で大丈夫ですか。
上小鴨青少年育成部長	そうですね。その方が負担的に良いと思います。
部会長	どうですかね。こんな形でよろしいですかね。
上小鴨委員	ごめんなさい、私がよく分かっていないのかもしれませんが、今生活育成部になられた方は小鴨地区の青少協の中に、あて職として 3 つの部のどこかに入るようになっているというような説明でしたよね。
小鴨地区青少協会長	今までの小鴨小学校はそうでした。そしてその形をそのまま令和 6 年度以降も受け継ぐという方向でも良いですし、上小鴨の方にも入るように分けても良いです。こちらとしてはどちらでも大丈夫です。こうしてほしいというところまではないです。だから今ここで話をしてもらって上小鴨の方に小鴨地区青少協に入ってもらえるのか、先のことを考えて合同でやる活動も多いので小鴨の方に入っていただくのかこの場で決めていただいたら良いと思います。
上小鴨青少年育成部長	小鴨が良いと思います。やっぱり小鴨小学校の PTA の方がまとまっていくような形を取られると思うので、その中に入ってやっていただくのが 1 番良いと思いますし、何回も繰り返しますが、共通のイベントもありますし、上小鴨は上小鴨の方で独自のイベントを考えていますので。 本当は魚のつかみ取りなんかすごい面白いので、小鴨地区の子と一緒にやりたいなと思ったのですが、ちょっと準備が無理じゃないかなと。そういったこともあるので小鴨ということで主体的にやっていただいとしたいと思います。なので今まで通りそういった形でやっていきます。PTA 役員として今は役も入ってもらっていませんので。

小鴨地区青少協会長	はい、是非この会で方向性を決めていただいて。
上小鴨委員	役員を決めたときに、あて職の話は全然無かったので、それが蓋を開けてみて実はこの役がありますとなったときに納得されないのではと思いますが。役自体は決まってしまうので、いくらあて職といえどもその説明もしないといけないし。説明が無いまま名前が乗かってしまうとちょっとそれはどうなのかなと。
上小鴨委員	役の説明はどこまでしてありましたか。
上小鴨委員	内容ははっきりとは決まっていなかったもので、そこまで説明はされていないですよね。
部会長	確かに青少協の絡みというのは、この場でもあまり議題に挙がっていなかったというところもあるので。
上小鴨委員	各地区から出ていただいた方が支部長さんと育成部と別れるようになっていきますよね。だからその部の名前でそういう役に入るんだってことはもちろん分かっておられるのですが、中身的に今おっしゃったようなあて職というかそこに入り込むんだという所までは、どなたもわかっておられないでしょう。説明していた私達も分かっていないままだったのではというところはあるんです。
上小鴨委員	決めたときにその話自体はなかったのでそこをどのようにするのか。名前が挙がる方に納得していただくか。それだけ小鴨地区に関わるということになると、上小鴨の人間からするとハードルが高いところがあります。色々緊張したりとか。大所帯に行くということで。やっぱり色々な思いがあるので。あて職ということだとしても丁寧に説明をしないといけないのかなと思いますけどね。役自体もまだ把握できていない中でもう一個役があるのかと思われたら、ちょっとどうなのかなと思いますよね。
部会長	伝統といえば伝統になってしまいましたが、小鴨地区の青少協の関わり、自分も入ったときに、今でもまだ全部把握しているわけではないですけど、まだよくわからないながらも活動をしていまして、やるうちに慣れていった、まだ慣れていないところもあるんですけど、新しく役をされる副会長さん、育成部さんに実はあて職があるんですというところをお伝えするのちょっとというところですよ。
上小鴨委員	そうですね。
上小鴨委員	PTA 副会長があて職として入ったとして、どういう役になりますか。やっぱり上の方の役になるんですかね。
小鴨地区青少協会長	副会長さんが入ってきて、ここの3名と同じです。小学校の各部の部長さん副部長さんに役員会という名前があるように、ここの役員会の部長さん副部長さん、ここの部長さん副部長さんという形で役員会があるので、多分そこに入ってもらおうと思います。役員会という形の中に入ってもらおうので、それで副部長さんになってもらう流れですね。
上小鴨委員	厳しいですよ。

小鴨地区青少協会会長	これまでも、小鴨小 PTA にあて職があるということが伝わるのが、実は毎年スムーズではなくて、引き継ぎ会の時に初めて知るみたいなことが伝統としてあるので、早めに伝えてという表は作ったんですけど、多分それが小学校 PTA の中でちゃんと引き継いでいないから、4 月になって「え、そんなのがあるの」ということになります。
上小鴨委員	書いてあっても、いざなってみないと分からないというところがね。
小鴨地区青少協会会長	文字で見ると実際関わって入ってみると、やっぱり関わりがこんなにあるのかということをして初めて気づくというパターンがよくあります。早めにそれを口頭でもお知らせすることが重要なと思います。
部会長	この前の役員決めの会でも、ある程度は説明があった方が良かったかもしれませんね。
小鴨地区青少協会会長	というのも活動が子ども達の活動なので小学生、中学生の活動をフォローしていくというようなものなので、PTA さんには入ってもらいたいという思いが強いですよね、小鴨青少協としては。なので早めにお知らせをしていただいて、実は青少協という地域の活動にも関わるんだよということを伝えていただくという流れでしょうか。
部会長	とりあえず今回の3名さんとは今度、何の会でしたかね。新体制の会は。
小鴨委員	この間終わりましたので、引き継ぎ会ですね。
部会長	次引き継ぎ会という会が開かれるんですけど、その時にでも、会長にも言っておきますので、しっかり3名さんにはどういう活動をするよというところをご説明させていただいて、不安がないように持って行けたらなというところでどうでしょうか。
上小鴨委員	今回役をされる方が納得すれば、上小鴨の保護者の方は小鴨の青少協のあて職に役になられたときに入るということはそれで OK ということになるんですよね。ここで。翌年もその次の年もということですよ。今上小鴨青少年育成部長さんがそのように、地区の方が出られるから別に PTA 組織のあて職としては入られなくて良いですよということで本当に良いのかなというところと、その保護者の代表の方が良いと言われたらそうなんですけど。
部会長	まあ要するに今までも上小鴨さんの中で地域の役員として PTA は参加しておられたというところですね。
上小鴨青少年育成部長	そうですね、地区によって PTA の方も入っていらっしゃる方もおられますので、特に必要はありません。要は合同のイベントもありますので、合同のイベントの時には結構来ていただくような形になりますけれども、我々育成部の方でやれると思いますので。ただ小鴨さんの方はかなりイベントが大きいので、そういった意味で同じ小学校にまとまったということや PTA 絆というものがありますから、そちらの方で頑張らせていただいて、共同のイベントの時はお手伝いに来ていただいたりとかね、そういう形で良いかと思います。

上小鴨委員	結局のところ、あて職は1名ということですか。
部会長	いえ、3名です。
上小鴨委員	3名がそのままあて職になられるということですね。
部会長	そういうことですね。
上小鴨委員	セットということですよ。
部会長	セットですね。
上小鴨委員	役員を決めるときにその話があると良かったかなとは正直思います。役だけで決めたところがあるので。付随するものが分かっているとちょっと違ったのかなと。
小鴨地区青少協会 会長	または、私達も数年間は様子を見ながらしていこうとそこまで決めているので、小学校のPTAさんがあて職で来なきゃいけないというそういうふうな決め方はしていないので。例えば2年とか3年とかちょっと色々ここに関わる人たちの気持ちを聞きながら、来年度は関わって良いよということであれば関わっていただく、再来年度もまたそれぞれ聞いてみてとか、例えば引き継ぎをしてもらって納得していただいて関わってもらっても良いですし、引き継ぎをしたけどやっぱり自分は上小鴨の方に関わりたいということであれば令和7年度はそちらに関わってもらっても良いし、ちょっと流動的でも良いのかなと思いますけどね、数年間は絶対こうと決めなくても。
部会長	そうですね。まあちょっとなにせ統合になって最初の時は緊張したりね。時間をゆっくり、小鴨に慣れられてからちょっとずつ参加しようかという気持ちを尊重するじゃないですけど、ひょっとしたら出るよ出るよという方かもしれないですけど。そこは何せ新しい役員さんの方で出る出ないというのは決めても良いのかどうかというところですけどどうでしょうか。
副部会長	その部で、副会長さんは仕方がないかもしれませんが、例えば育成部、総務部の部長さんが入っているんですけど。PTAの、そこまでは分かりませんか。
部会長	副部長さんも入っています。
副部会長	そこの負担が大きいというふうに言われるようだったら他の部員さんに振るとかっという。
小鴨地区青少協会 会長	この部がこのままこっちの部の部長さんとかになるんじゃないかということですか。
副部会長	とかもあるかなと。
小鴨地区青少協会 会長	今までの小鴨の流れですと、この人は多分この辺の副部長さんになってもらうと思うんですけど、ここの方達はこの人は育成部に入るけど部長とは限らないです。総務の人もこっちと言うよりも地域活動部の部員さんになるという流れが今までは多いです。というのもやっぱり1年目、2年目でいきなりそのポジションというのは、される人もいるんですけどハードルが高いので。絶対に部長さん副部長さんという感じでもないです、流れとして。副会長さんは副部長さんという流れが今の

	<p>ところ多いです。</p> <p>ここの組織でどこに振り分けるかを決めてもらっているのです。青少協の方からこの人こっち、この人はこっちとはしていないので。ここの中で決めてもらっています。なので上小鴨から入られる方は、部員さんで良いんじゃないかという決め方を小学校の PTA の役員会でされても良いかなと思います。</p>
部会長	<p>ということでちょっと話は戻りますが、上小鴨から来られる役員さんに判断を委ねるという方法か、はたまた上小鴨青少年育成部長さんがおっしゃられたように上小鴨の方は大丈夫なので、小鴨の方で頑張ってくださいという意見もあるしということですかね。</p>
上小鴨委員	<p>私個人の考えとしたら、まだ小鴨という地域に慣れていない中で、小鴨主体の地域の活動に上小鴨の方が参加じゃなくて、運営をやらなきゃいけない状況というのはすごくハードルが高いと思うんです。私だったらちょっと遠慮したいなと思うんですよね。まずは地域に慣れてから地域の活動に取り組むという流れだったら分かるんですけど、学校は統合しました、小鴨という地域も保護者も分からない中で地域の参加を促すというのは、これはちょっと厳しいなと個人的には思います。やらなきゃいけない状況だと言われたらそれまでですけども。</p>
部会長	<p>例えば来年統合して、小鴨の方のスキーであったりというのは全然来ても良いよというスタイルなので、それらを経験してから決めていただくという方がスムーズといえばスムーズなのかもしれないですよ。</p>
上小鴨委員	<p>地域ベースの関わり方がまだよく見えてこないの、学校同士が合同学習とかそういうもので子ども達ベースでは進んでいますけれども、地域ベースの活動というのはちょっと見えてこないなというのが正直なところです。それを今入ってもらいましょうとかこの場で決めてしまうというのは、その方々の意見もあるし、保護者さんの意見もありますのでちょっと難しいですね。もっと早い時期に青少協の方と話が出来ていたら良かったかもしれません。</p>
部会長	<p>どうでしょうか。来年度上小鴨さんの方から3名さんが例えば小鴨の青少協に関わらなくても特段人数的な配分とかそういうところは大丈夫ですよ。</p>
小鴨地区青少協会長	<p>大丈夫です。</p>
部会長	<p>なのでとりあえず一年間携わってみて、さっき言ったように携わってみて、あ、こういう感じなんだなと慣れて、ではまた来年一緒にしましょうかというところでスタートをしても良いというところではあると思います。</p>
部会長	<p>どうでしょう、そういう感じでももちろん引き継ぎ事項として来年度にというところ、ちょっとそこもどうだろうかと声かけをして、来年の副会長になられる方に打診してどうしようかという話をするのも一つの手かなというところですよ。</p>
副部会長	<p>部長さんも一緒にすることですよ。育成部長さんと上小鴨の副部長さんが一緒に参加。例えば〇〇さんだったら育成部の副部長さんをされるんですよ。そ</p>

	して小鴨の方が部長さんを来年度はされるんですよね。部長副部長が協議会の方に運営とかではなくて運営補助で。
小鴨地区青少協会 会長	部員さんという形で今までは入ってもらっていたと思います。
副会長	〇〇さんが言うには運営とするのが負担になるということですよね。
上小鴨委員	負担というかハードルが高いなと思います。流れをみてないわけですので、小鴨さんの規模だとか上小鴨はイベントをやっても数名、分かる範囲、見える範囲ですけどそれがいくら地域の活動とはいえ小鴨の活動となったときに何十人という行事は上小鴨は今までなかったと思うんです。あまりないですよね。そういうところも一つ一つの活動がどういう感じかというのを分かってもらった上で絡んでいった方が良くないかなと個人的には思います。
部会長	中に入ってからの配慮というか、うちら初めてなのでちょっと負担の大きい役とかになるとということは配慮してもらったらどうでしょうか。
小鴨地区青少協会 会長	とにかくこの中で部員さんとして関わってというようなことを決めてもらったら全然良いと思いますし、うちは絶対部長副部長になってくれというわけではないので、協議会としては、小学校の役員会の中でそれは決めてもらったら。上小鴨地区という部員さんという形で。
副会長	これまでの流れでもし部長副部長はこれをしないとイケないんですという流れが出来てしまっていたらちょっとハードルが高いかないところがあるので一回決めるときにちょっと部員でという雰囲気になれば。
部会長	まあそんな感じで受け入れる側じゃないですけど青少協さんの方も入っても良いし入らなくても良いしといった感じのちょっとラフな感じで構えるということできましようかね。興味があるよということであれば全然参加してもらっても良いですし、いやちょっと1年様子を見てからとかそういう感じでも。確かに地域のことでね、PTAの中の話でもあるんですけど基本的には地域、PTA組織外の話でもあると思うのでそんな感じでちょっと柔軟に受け入れるという感じでどうでしょうか。
上小鴨委員	ここまで小鴨小学校の役員になられた方が青少協のあて職でドバツとというか、がっちり入るといふことのその仕組みを私達も知らなかったのでもっとびっくりしているところと、あとこの5年度でPTA活動で活動された生活育成部の中の例えば青少協と書いてあって交通安全ののぼり旗作りと書いてあるじゃないですか。今までは入りこんでいたから当然学校に持ち帰って青少協の活動としてもやるというのは分かるんです。分かるんですけど、それはどうなるんですか。
部会長	1つずつ話をするとのぼり旗の件ですよね。どうなるでしょうか。
上小鴨委員	地区が2つそれぞれやっていた地区が1つになるから大きいしそうやって入り込んでいたからというのは分かるんです。だからそっちに今そちらの組織の中にも入ってみてどんな事をされているのかというのを学びながらというのは分かるんです。

	ただ、がちっと入ってしまった中身をどうするかというのも 1 つ問題というか。PTA の中に青少協を書いてあるものが入ってあることでやっぱり青少協に入らないといけないのかなとか、あれ、上小鴨は置いといて小鴨地区として私達活動するのっていう。そうではないにしても錯覚を持ってしまわれる人がいるのではないかとこのことを恐れています。
小鴨地区青少協会長	分けたらいいじゃないですか。
上小鴨委員	小学校の育成部としてやる、どっちの地区でも共通でこれは必要だろうやりましょうということはあっても良いと思うんですけどすごく地域に密接に関わるようなものはちょっと来年度は様子を見ながらみたいなのでここには入れない、考えながらしないといけないんじゃないのかなと思ったりするんです。
部会長	実際の所、のぼり旗とかもここにばーんと書いてあるのですが、のぼり旗を作ってこられる地区と作ってこられない地区がありまして割とここに書いてあるのでもちょっとおってなってしまうのですが割と中身はラフな感じですよ。
小鴨地区青少協会長	ラフなんですけどそう書いてあると思っちゃうから分けたら良いと思います。
部会長	青少協の活動と、今後どうなんでしょうか。学校の方で、この中に青少協の名前が入っているのはまた違う欄とかに書くとかということではできそうですかね。
小鴨委員	違う欄に書くというのはここに載ってくるということですよ。
小鴨地区青少協会長	違う紙です
小鴨委員	このものには載らないで例えば青少協の会の青少協のものには載る、ここには載らないというのはありかなと思いますけど、ここに載ってこれまでずっときているのですがそれではなかなかということであれば外して考えてもらっても良いのかなと思います。青少協の中で話をしてもらったり育成部の中で話をしてもらったり。
小鴨地区青少協会長	保護者さんに配られる紙ですよ。全保護者さんと役員に関わる保護者さんは別に考えるんですよ。全保護者さんが見るものですよ。
小鴨委員	そうですね。
小鴨地区青少協会長	そこに青少協と書いてあると混乱しますよね。
部会長	ご指摘ありがとうございます。本当に誠にそうだと思いますね。 まとめますと、総じて来年度実際携わってみて慣れて、1年後か2年後か3年後かよく分からないですけどでは一緒に活動しようよというタイミングがひょっとしたら出てくるかもしれません。そのタイミングを見計らいながら青少協に関しては何事も柔軟性を持ってというところの曖昧な感じの決め事にはなってしまうんですけど進めていくということでもよろしいでしょうか。そしてプリントを分ける。青少協と名前が付いているものはちょっと分けて、年間行事予定表でも分けていただ

	<p>くという格好でどうでしょうか。よろしいですかね。</p> <p>はい、ありがとうございます。ではそんな感じでいきます。非常に良い話で、こうやって問題点とかもしっかり洗い出せて本当に良かったなと思いました。ありがとうございました。</p> <p>次は水着のことに關してですね。お願いします。</p>
小鴨委員	<p>今見本を持ってきていただいています。これは女の子用でセパレートとワンピースです。これは男の子用でこんな感じです。結論から言いますと、今上小鴨と小鴨小学校は違う業者です。同じ業者ですが、同じメーカーの同じ品物を扱っていらっしゃると思います。そして同じ価格でということと事前に話があったときにお知らせをして、同じ価格で同じ製品をとということでお越しになりました。学校教育部会でも話をさせていただいて今まで取引のある業者さんお互いに同じものを同じ値段で取り扱いますということですから同じタイミングでどちらでもどうぞというスタンスで行きたいなというふうには思っています。</p>
上小鴨委員	<p>この商品というよりは今見ていただいたものの中から選んでもらうというイメージでお店の方もこちらでというよりは同じものを扱っておられるお店がこの二店舗ですという紹介をさせてもらって購入いただくという方式がどうかというところで</p>
小鴨委員	<p>多分上小鴨さんは例えば業者から注文袋みたいなものが来ていたんですかね。</p>
上小鴨委員	<p>そして集金をさせてもらっていましたが。</p>
小鴨委員	<p>新しい小鴨小でも注文袋が来てそれを両方どうぞと保護者の方に選択してもらえば、もちろんワンピースを選ばれても女の子だったらセパレートを選ばれても同じ価格でという。</p>
上小鴨委員	<p>学校が入りますか。学校が集金をしますか。</p>
小鴨委員	<p>うちは全部私が集金しました。</p>
上小鴨委員	<p>しておられたけどこの際だからどちらでも買うことは出来るから言ってくださいというスタンスで。</p>
小鴨委員	<p>たまたま小鴨小学校の流れで教頭がしていたのですが、新しい小鴨小学校になったら。</p>
上小鴨委員	<p>400人からそんなことをしたら大変なことはないかなと思ったり、都合の良いところで買ってもらおうというような感じで。</p>
小鴨委員	<p>そのような方向でね、新しい小鴨小学校になれば良いかなと私も思います。</p>
上小鴨委員	<p>ちょっとご不便はかけるかもしれないんですけど。</p>
小鴨委員	<p>配るのは配っておられたんですか。封筒は。</p>
上小鴨委員	<p>配っておられたと思います。</p>
副部長	<p>在庫でどういうものか、サイズも現地で見られた方が。</p>
事務局	<p>一個確認で、2つのお店だけではなくどこでも良いですよという感じですか。</p>
上小鴨委員	<p>このメーカーのこれじゃないといけないのかないすよね。</p>

事務局	学校として紺で、黒であればそこで買われても良いですよという中で、今までの付き合いももちろんあるのでこの2つについてはご紹介はするんですけど、大型店に行かれるなら大型店でも良いし、スポーツ店のどこか違うところでも良いしという形に、どこでも良いですよという感じにはされないのですか。色んなパターンがありますが。
小鴨委員	そこは多分きちんと話が出来ていないのかなと思います。要は上履きにしてもです。推奨のものですよとご紹介をしてそれも注文を取って集めるんですけど、そのものではないといけないというわけではなくて他のものを履いている子ももちろんいるので、推奨というか学校で紹介できるものです。というスタンスですかね。他のものでも良いというところまで議論が出来ていなかったのかなと思いますけど。
上小鴨委員	これってまだ持ち帰っても良いですか。
事務局	あとは決めていただければ。
上小鴨委員	持ち帰りましょうか。
小鴨委員	そうですね。
上小鴨委員	ただ集金しなくても良いということは了承していただいたので、そこを2店舗ご紹介するか、どこでも良いので紺か黒がベースのものをというところだけをお示しするかという所を一度。あんな長さでしたっけ。
上小鴨委員	結構今風の膝上ぐらいのものを履いている子がいます。
上小鴨委員	それは小鴨はなしですか。色んなものを着ていますか。
小鴨委員	基本は男の子はこれが多いですね。紺色を着ている子もいるのですが膝上を着ている子はいないですね。
上小鴨委員	割と六年生とかは短パンではなくて今風のものを履いています。
上小鴨委員	どうしたらよいですか。
上小鴨委員	膝上までであればとか、色やこういう系統でと示しておいて、今色んなスタイルがあるので、女子の水着もワンピースとセパレートとあるように男の子も選択肢があっても良いのかなとちょっと思ったりします。あんまり短パンは、体操服でもそうですけど短いのがないのでもしかしたら高学年になればなるほど嫌がるのかなと思ったときに選択できると男の子も良いのかなと思いますね。
上小鴨委員	分からないです私は。どうですか。長かったらあまり良くないですか。
小鴨委員	いえ、共用の水着はきちんとしたもの、長いものも今あります。ただ高価ですよ。これが安い訳ではないです。これは恐らくどの範囲でというのは学校でグリップさせてもらう範疇のものになると思うんです。機能的なものとか、これに変えたときも多分何回か議論をしてこのタイプに変えてきているのももちろん持ち帰らせてもらって今出てきた意見は報告をさせていただきたいと思うし検討はしていきたいと思うのですが、じゃあ膝上でこの色だったら何でも良いか、何でも良いかというのは色んなものがあるんですけどそれを全部 OK にするかどうかというのはちょっとここではご返答できないかなと思います。

部会長	はい、ありがとうございます。どうなんですかね、これって学校側で決められますかね。
小鴨委員	学校部会で話をして、今出てきたご意見をそこで諮らせていただいて、ここまでとかこういうふうにと決めさせていただいてそれに一任していただけるのであれば学校教育部会で話をして決定していくという事で良いですかね。
部会長	では一任ということによろしいですね。

全体委員会： 会議室 20:05～20:40	
委員長	みなさんお集まりいただいたようでございます。ではですね本日第11回の統合準備委員会全体委員会の方を開催させていただきます。一応皆さん委員会の方はこれが最後だということでございますのでよろしく申し上げます。では各部会の報告及び協議事項ということでですね発表の方よろしくお願いたします。
総務部会	そうしますと総務部会でございます。報告ということでですね閉校式開校式の出席者について欠席連絡の方法について、スクールバスについて報告を受けましたけれども非常に微妙な話もございますので事務局の方から説明をいただくことにさせていただきます。すみません、よろしく申し上げます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・閉校式・開校式の出席者について ・欠席連絡の方法について ・児童増加によるスクールバス運行経路の変更・安全教室・試乗について 総務部会と同様に説明
委員長	どうもありがとうございます。では今総務部会の方から報告がありました。皆さんの方から何かご意見ご質問等あればよろしくお願いたします。
小鴨委員	ふと思ったのですがこの今朝はスクールバスに乗らない連絡システムと何のためにと言ったら語弊が、聞こえが悪いのですが、総務部会の時にもお話しさせていただいたのですが定刻になればバスは出てしまいます。仮に遅れてきたとしても出てしまいますよという話があったじゃないですか。だけど欠席連絡を入れていなくても来ていなかったら出ちゃうんですね。そうしたら別に欠席連絡を入れなくてもその時間に行っていなかったら普通にバスが出てしまうなら特にこのバスのためだけに連絡する必要は何かあるのかなと今ふと思いました。もともとの、前回の話し合いの時にはそのまま学校とかにも情報が伝わってみんなが共有できるようにというやつで、今も検討中なのでそういうシステムを新しく構築していただけるのかもしれないですけど今のこの成徳小学校さんのバスに乗らないだけのシステムであれば、定刻に出ちゃいます、見えなかった時点で出ちゃいますという話だったのでだったら、登校していないのであれば良いのではないのかなとふと思いました。乗らないのであればもう一回戻って探しに来ますとかずっと待っておきますと言うのであればいると思うのですが、定刻に時間通りに出てしまいますよということであればいいんじゃないのかなとふと思った次第です。意見として。

委員長	はい、ちょっと今ご意見が出ましたけれどもちょっとその点も踏まえましてですねシステムの方利用しやすいように、また情報の共有ができますようにですねご検討していただければと思っておりますのでよろしくお願いたします。他に何か皆様の方でご質問等あればお願いたします。よろしいですか。
小鴨委員	すみません。細かなことを一つ良いでしょうか。先ほどの説明で4月6日の練習の際にバスに乗られた関係者の方が下足場の確認をされるとお話がありましたがそれは校舎の中に入られて下足場を確認されるということでしょうか。この時期はまだ開校もしていませんし、始業式もしていませんのでクラス発表もしていません。ですからその状態の中でどの辺りまでを確認されるという意味での下足場の確認ということだったんでしょう。
委員長	すみません、よろしくお願いたします。
事務局	成徳小学校さんの時にですねさせていただいたのが玄関はここですよとかこの辺りに一年生の下足場があります、こっちは大体何年生ですよというところまでですので特にその場に行ってあなたの下足場はここですよというところまではしていません。ですので今回もですね中には入らずに外の方から玄関、この辺りに下足場がありますよというような所そこまでを紹介したいかなと思っております。
委員長	今のあれは3月3日の分ですか。4月の6日の分ですか。分かりました。4月6日土曜日の分ですね、今の方法だということでございますのでよろしくお願いたします。他に皆さんの方でご意見やご質問等あればよろしくお願いたします。よろしいでしょうか。また何かあれば最後の方にお願いたします。では続きましてPTA組織部会の方からのご報告をお願いたします。
P T A 組 織 部 会	P T A 組織部会です。まず協議のところでP T A 活動内容のすり合わせということで今日は青少協の〇〇会長と〇〇部長さんに、素敵なゲストに来ていただきまして説明をしていただいたということでございます。来年度の役員決めですね、特に上小鴨さんの小鴨に合併してからの役員が小鴨ではあて職的な感じで青少協の役員さんをつくんですね。ただ今回に限っては統合後、小学校の方になれていない中、地区のことも一緒にするのは難しいのではないかとということで、また数年後一緒にするのかもしれませんが役員さんに関しては上小鴨さんの方からは選出しないということになりました。ただ参加者として青少協の活動に関わっていただいていた慣れがいただいていたはずかというところで小鴨地区の青少協としても柔軟な対応を取っていかうという話になりました。P T A 活動の年間計画表というものがあるのですが青少協の行事も記載してあるんですね。そこはちょっと外してもらいたい。混合してしまったらちょっと混乱するよという。P T A の活動はP T A の活動、青少協の活動は青少協の活動ということで別紙で説明ないし紹介をしていただけたらということで青少協の方とP T A の方の活動内容を分けて配布するということになりました。報告の所なんですけど水着についてですが各学校での集金はしないということになりました。その他のことに関しては学校部会の方で教頭先生達を含めて詰めて

	<p>いただくといったところでお話が終わりました。以上です。</p>
委員長	<p>はい、どうもありがとうございました。ちょっと聞きそびれたのですが水着についての所もう一度お願いいたします。</p>
P T A 組織 部会	<p>はい、もう一度言いますね。各学校での集金はしない、要するに学校で取り纏めをして学校にお金を持ってきてということではなくて各家庭で今出ているウォーキングギアさんとかしま商会さんというところが今小鴨、上小鴨の担当になっていると思うんですけどもそちらの方で購入されても良いですし、その他の色とか格好であったりという所を今度の学校部会の方です。そこら辺をきちっと決めていただいてまたお示しするというイメージです。各小学校で集金をしないということは要するに買いに行つてねということでございます。</p>
委員長	<p>はい、分かりました。では皆さんの方からご意見ご質問等ございましたらよろしくお願ひいたします。よろしいですか。では報告の方いただきました。では続きまして保護者アンケート結果につきまして報告の方よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>失礼します。それでは9ページをご覧ください。アンケート結果についてまず私の方から結果をお伝えさせていただきます。まず、統合後の新しい学校に期待することということで多いものから順に5つを上げさせてもらっております。社会性やコミュニケーション能力の向上、集団での行動、遊びの成立、多様な意見に触れる機会の増加、学習意欲の向上、向上心の高まり、切磋琢磨という所です。統合後の新しい学校で重点的に取り組んで欲しいこととしまして仲間作りの充実、これが61%ですね。それからきめ細やかな指導、児童一人一人の活躍の機会の確保、先生と児童との関わり確保、学習規律の徹底というふうにも多いもの5つを上げさせてもらっております。なお、このことにつきまして学校教育部会の淀瀬校長先生の方からアンケート結果を受けての今後についてということでご説明いただければと思います。</p>
学校教育部 会	<p>失礼します。アンケートの結果をいただいて、見ていく中でとても大事なことばかり上げられています。新しい学校の中で仲間作りというところが一番大事だというふうに私達は考えているところですがこのご意見をもとにしながら来年度の新しい学校作りというところ小鴨小学校の校長先生と共にある程度の大枠は作っていきながら進めたいと思っています。ただ、新しい校長先生のご意向とかもありますのでそこはまた少し変更されたり、校長先生の思いというのもあったりするかと思いますが大枠としては井上校長先生と私で進むべき方向は決めていきたい、出していきたいというふうに考えています。今出しているところで大きな差はないと考えているところ。アンケートについてはそういう感想ですが個別に言えば、学校が統合すると上小鴨小学校の先生方も多分何人かは小鴨小学校の方に勤務されると今までの統合の状況を見るとあると思われ。それで上小鴨の先生方は一応全部の児童のことを大体毎年職員会等で共通理解しております。その中で、あれ、ちょっと4月になってから去年と違うなというところは気づいていただければと私は信じてい</p>

	<p>ますのでそういう中で先生方あるいは保護者と繋がりながら子供達をサポートしていくということも必要かと思っていますし、このあと2月3月の間で子供達が心配を訴えているようなことがあれば一緒に考えたり相談したりということをしていきたいと上小鴨の方では考えているところです。アンケートについて以上です。よろしいでしょうか。</p> <p>続けて学校教育部会の方で話をさせてください。よろしいでしょうか。学校教育部会の方では何度か管理職で集まって話をする機会を設けています。1月30日に新入生説明会と言うことで児童それから保護者の皆様に小鴨小学校に集まっていたいて、両校の教員全員で説明会を開きました。上小鴨の1年生の子供達も小鴨の1年生の子達と集合学習という形で一緒に活動をしてとても楽しかったという、お姉さんお兄さんらしくなって色々教えていたという姿を見ました。保護者の方での説明会はワークショップを開いたりしながらとにかく皆さん仲良くなっていきましようということを大事にしました。それから二つ目ですが2月1日から日にちはバラバラですけれども1年生から5年生まで上小鴨の子供達が午前中一時間か二時間、大体四時間目、給食、休憩、五時間目というパターンが多いかと思いますが、長い時間集合学習ということで一緒に活動するようにしています。すでに4年生、2年生が終わりました。今度3年生、5年生と行きます。そういう中で今までと給食のシステムもずいぶん違うので色々なことを、わーこういうふうにするんだとドキドキしながらランチマットの準備だとか今まで上小鴨と違うことというのいくつかあるのでそれをやっぱり揃えていく必要があるのもその辺は揃えながら4月からこの方向でいくよということは説明しながら慣れるようにしたいというふうに考えています。学校の決まりももちろんすり合わせをしながら両校の大事にしているところは入れて進めているところです。簡単ですが以上です。井上校長先生補足があればお願いします。</p>
小鴨委員	ありません。
委員長	はい、どうもありがとうございます。今学校教育部会の方から報告がございましたけれどもこれも含めまして何か皆さんの方からご意見ご質問等があればお願いします。
上小鴨委員	<p>P T Aの活動の話になるかもしれないですが4月に入学式があって、4月の中旬以降ですかね、P T A総会、学校の校長先生の方針の説明があってその後にP T A部会や総会があったりするのですが今回統合ということになりますのでその辺のスケジュールも結構タイトになるのかもしれませんが多分入学式より前にそれを行われるというわけではなくて、入学式が始まってから各役員さんであつたりが集まったりする機会があった後に総会を開くような流れになるのでしょうかね。まだそこは決まっていないのかもしれませんが、後希望というわけではないのですがせっかくなので小鴨小学校の保護者と上小鴨小学校の保護者が話が出来るような機会があったらなお良いかなどという個人的な要望ではないですがその辺りのことは新しい役員</p>

	で決めていくような話になるのでしょうか。その辺はまだ具体的に決まってい ない ですよね。
小鴨委員	その話をですねしておかなければいけないなと思っ ていまして小鴨小学校ではとり あえず総会というものを今の小鴨小学校として開く ということは考えていなくて すね、今の年度の事業と決算とというものは書 面に保護者さんに出して、それで承認を いただくという形で次年度の総会はもちろん、 新しいPTAの組織の始まり ということなので本来でしたら大体前年度の PTAの役員がそれを準備して執り行 っていくのですがやっていく内容も前年度の 事業報告等もありませんし。小学校で 行うことですので。その辺りをすり合わせ をしておかないといけないなと思っ て後で〇〇さんに声を掛けようかなと思 っていたのですがその辺りどうしていきま しょうか。上小鴨さんとしては、流れとし ては総会を開かれますか。
上小鴨委員	総会については今年度の決算とか事業報告は 2月中旬には書面決議を行って、3月 にはこういう結果でしたということをお流 しするということはもう決定していま す。というところで一応PTA活動も今年 度で終了というふうには考えていま す。
小鴨委員	小鴨も監査がいるので監査を3月の頭ぐ らいにしてその後に役員会で諮ってその 後書面で配布するという形で考えてお りますので総会の内容、日取りは25日 という ことで一応予定はしております。その 内容、進行等と細かいところにつ きましてまた別で話しましょうか。その 方が良いでしょう。
上小鴨委員	上小鴨のPTA会長さんはこのメンバ ーではないのでそこについてはまた教 頭同士で詰めてもらって、そこから でも良いでしょう。4人がPTA会 長と集まって、今の件PTA会長 さんと話をする機会がないといけ ないと思うのでその辺りお願い できますか。
小鴨委員	調整をして会を開くんですか。
上小鴨委員	そうしないと進んでいかないと 思うのですがいかがですか。
上小鴨委員	よろしいですか、調整をお願いします。
委員長	はい、ということでPTA等の ですね新しい年につきまして ですね取り扱いにつき ましては両地区で、上小鴨、小鴨 地区でですね調整をしていただ ければと思っておりますので打 ち合わせはきちっとしていただき ますようによろしくお願 いをいたします。では他に何か 皆様の方で質問ご意見等あれば お願いします。よろしい ですか。はい、では続きまして ですねその他ということによ ろしくお願 いをいたします。
事務局	ではその他として一件お願 いします。本日皆さんに閉校式、 開校式のご案内文書を 配布させていただいてお ります。その中でですね出席、 欠席についてですね回答 いただくようにして おります。2月26日までに 学校教育課に回答いただく ことになっておりますので よろしくお願 いをいたします。なお、すで にご予定がおわかりに なれておられまして出席 される、欠席されるという ことがはっきりしてお られる方がございましたら こちらの回答表が入 っておりますので本日提出 いただいても結構 です のでよろしくお願 いをいたします。以上です。

委員長	<p>はい、どうもありがとうございます。では他に質問等があれば。無いようであれば第11回統合準備委員会の方閉会とさせていただきます。ありがとうございます。ということで挨拶をしろということでございますのでちょっと簡単に挨拶をさせていただきます。統合準備委員会の方はですね令和4年12月に第1回ということでですね開催をさせていただきました。各学校関係の教職員関係の代表の皆様、そしてPTA、保護者の代表、そして地区の代表というような代表の方をですね選出いたしましてこういう会を進めてきたというところでございます。その中でですね会長をしろと言われましてですねどういう形になるのかなと非常にですね心配をしたんですけれども教育委員会の方が上手く進めていただきましてなんとか現在に至ったというところでございます。そういうこともございましてですね、やはり統合と言いますと特に上小鴨地区の時にもお話しさせていただいたんですけれども小鴨小学校に吸収合併ということではなくて新しい小鴨小学校を作るんだということですねまず第一歩を確認させていただいたと言うところでございます。そこから新しいものを作っていくということですね皆さんのご協力を受けましてですね色々校名であったり校歌であったり校章であったり水着であったり色々なですね組織体制をですね考えていただいたということでございまして誠にありがとうございます。皆さんどうもありがとうございました。</p>
教育長	<p>失礼いたします。私からもお礼を申し上げたいと思います。今委員長がおっしゃっていただいたように足かけ2年、11回の皆さんの会のおかげでですね様々な話し合い、調整をしていただいたこと本当にありがたく思います。わがままを通せば、こうでなくてはならないと言える場面は沢山あったと思います。でもそうなりませんでした皆さんの会は。じゃあこうしようじゃあこうしようというふうに折り合いを付けていただいてようやく統合に向かうことが出来ました。本当にありがとうございます。まだですねスクールバスのことであるとか、さっきあったPTAの組織のこととか詳細を決めていかないといけないことは残っていますが私達の仕事は4月スタートした新しい学校の子供達が本当に安心して安全にですね今日はこんなことが出来たとか今日は面白かったと言って貰えるよう学校を作っていくといけないというところが大きな使命です。ですからそれぞれの地域の皆さんにですね統合して良かったよねと言っただけのように教育委員会事務局はこれからも努力をして参ります。今までの皆さんのご苦勞に感謝をしてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。では以上をもちましてですね本日の統合準備委員会の方終わらせていただきます。どうもありがとうございました。</p>